



美しい田園21通信

美しい
田園
21

〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

NPO 美しい田園 21

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール npo@denen21.jp

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

目次

- | | |
|-------------------------|------|
| 1 東播用水の水源地、里地・里山の環境保全活動 | 近畿支部 |
| 2 御前山ダム周辺の秋季活動 | 関東支部 |

1 東播用水の水源地、里地・里山の環境保全活動 近畿支部

場 所：兵庫県篠山市西谷地内天満神社付近里山

実施日：平成 29 年 11 月 25 日(土)9:00～11:30

主 催：淡山疎水・東播用水未来遺産運動推進事務局(水土里ネット東播用水)

支 援：NPO 美しい田園 21・水土里サポート
近畿・東播用水水源地域環境・景観保全隊、
丹波篠山木の駅実行委員会

参加者：40 名(うち会員 3 名)

概 要： 初めに、東播用水土地改良区理事長より、水源地の方々が山を守ることで、水質浄化ともなり、保水力も維持されていることに感謝のことがあり、丹波篠山木の駅実行委員会の高橋代表から林業の衰退、台風による倒木により山が荒れている状況の報告と、環境保全活動の感謝の挨拶がありました。

歩いて 10 分ほどのヒノキの間伐作業ができていない人口林は、日も差さず薄暗く、幹の太さもばらばらで山が荒れていることを目の当たりにしました。

班編成を行い、地元の指導員の監督のもと、幹の細い木(6m 程度)をノコギリで 30 本程度伐採し、枝と 1m 程度に区割りする作業を 2 時間程度実施しました。

ノコギリによる間伐作業は、初めての経験でしたが、木が倒れるときの達成感は何とも言えないものでした。

神戸新聞社の取材もあり、下流受益者の東播用水土地改良区と水源地の丹波篠山の水源地の方との共同作業は、有意義なイベントとなりました。



神戸新聞 NEXT

2017/11/26 05:30 神戸新聞NEXT

水源地・篠山の里山守れ 住民ら 40 人が間伐体験



間伐作業に取り組む参加者ら＝
篠山市西谷

兵庫県の東播磨や神戸市の農地の水源である篠山市の里山を守ろうと、受水地域の住民や農家ら約 40 人が 25 日、同市西谷の林で間伐作業に取り組んだ。参加者は慣れない急斜面に足を取られながらも、のこぎりを使って雑木を切り出していた。

篠山市大山下の川代ダムからは、神戸市北区と西区、三木市、明石市、加古川市、稲美町に水が送られている。間伐作業は受水地域につながる水路を管理する東播用水土地改良区(三木市)が 2014 年から主催しており、同ダムの美化活動も行った。

参加者は地元の住民からのこぎりの扱いや間伐する木の選び方を教わり、倒す方向を計算して周囲に気を配りながら約 30 本を伐採。枝を落として 1メートルほどに切りそろえた木材は、近くの神社で護摩たきに使う。

神戸市西区の女性(65)は「命の源である水の大切さを改めて感じた。のこぎりのコツをつかんだのでまた参加したい」と汗を拭いた。篠山市で里山整備に取り組む林業技師の高橋隆治さんは「一番の課題は人手不足。他地域の人に手伝ってもらえると本当

に助かる」と喜んでいた。(大田将之)

2. 御前山ダム周辺の秋季活動 関東支部

1) 平成 29 年第 2 回ビオトープ育成活動

平成 29 年 11 月 1 日（水）本年度第 2 回目のビオトープ育成活動を行いました。定期的なビオトープ管理作業に加えて、秋季はダム湖周辺を歩く会、自然観察会、山桜の植樹などが行われることから、このような活動が安全安心に行われるように環境整備を図るものです。

10 月は 23 日（月）に台風 21 号が、29 日（日）は台風



山桜植栽予定地の整備

22 号が関東を通過し、暴風雨による被災などの影響を心配しましたが、現地を確認すると、最も心配した取水口は問題なく安心しました。9 時半には 30 数名のボランティアの皆さんが集合し、地元挨拶、NPO から作業内容と分担の説明があり、さっそく作業を始めました。

今回はダム湖周辺の桧山大橋左岸広場の山桜植栽予定地の整備活動を行いました。右岸側は数年前に山桜植栽を終えているので、両方を併せるとかなりまとまった山桜の森が形成されることになり、将来が楽しみです。

お昼には、地元婦人グループ手作りの昼食が用意され、おにぎり、汁物、漬物など、さわやかな環境でおいしくいただきました。

合間に、今回初参加の人が多かったことから、NPO からパンフレットを使ってビオトープの経緯や周辺の植物などについてワンポイント説明を行いました。

最後に御前山ダム環境センターからの地域貢献活動参加証明書、地元から白菜、柚、大根などの野菜や那珂川に遡上してきた鮭の切り身などがお土産として用意され、皆さん喜んで持ち帰っていただきました。ダム湖周辺の紅葉と、ちょうど台風の大雨の後でダム洪水吐から迫力のある景観が楽しめました。



作業ご苦労様でした



御前山ダムの洪水吐

2) 秋の自然観察会(御前山中1年生)

11 月 7 日（火）御前山中学校の自然観察会を行いました。今回も説明指導は廣瀬先生にお願いしました。全体が 4 グループに分かれてそれぞれの課題（キノコ探しやマイマイ探しなど）に取り組みました。最初は恥ずかしがって遠慮がちだったグループもありましたが、次第に解れて友達同士で楽しそうに話しながら取り組んでいました。

ダム湖周辺の水辺に山桜植栽



採取した生物の中には生息数が急激に減少しているツチガエルや森林の安定性が高いところに生息するカマドウマなど、この時期でもたくさんの種類を採取することができました。子供たちも「楽しかった!」「よく見るといろいろな生き物がいるということが分かった。」と話してくれました。



廣瀬先生の説明に興味深々

3) ヤマザクラ記念植栽(御前山小6年生)

11 月 21 日（火）、生徒 24 名、保護者 8 名、先生 3 名と事業所より 3 名、会員 14 名で計 25 本のヤマザクラを植栽しました。今年は保護者にも参加をお願いしたところ 8 名の方が参加してくれ、子供と一緒に協力しながら植栽していました。子供が用意していた名前プレートに保護者の方も名前を記入してもらい記念撮影をしていました。植栽したことを思い出してもらい、友達同士や家族で見に来てもらうようお願いしました。